

### 第13回「なにわ大賞」 贈呈式を開催

「なにわ大賞」では、なにわで一番のいちびりを大募集。毎年7月28日（なにわの日）に贈呈式を開催。町衆同士が互いに称え合うという賞の趣旨に沿って、賞をもってもらいます。と、いうことで、贈呈式を「もてて式」と呼んでいます。また、「いちびり」は、せり市で手を振って値の決定をとりしきる「市振る」に由来し、転じて物事のリーダーシップを取ることを指します。



第13回 贈呈式  
なにわ大賞

#### 第1部 贈呈式



選考委員長は直木賞作家の難波利三先生。賞状読み上げ時のアドリブに、場内は大爆笑!

運営委員長は  
当会の特別会員  
森一貴さん



朝香櫻子さん

高世麻央さん

鈴峯ゆいさん

城月れいさん

OSK日本歌劇団の劇団員さんも、駆けつけてくださいました



大賞受賞の肥田皓三さん(右)には、第12回の大賞受賞者・中井正明さんからトロフィーが手渡されました



司会の  
吉川智明さん

#### 第2部 パーティ



中から金銀のテーブルが飛び出す銭開き「ドンバ」に、みんなビックリ!



かんぱ〜い

大パノラマをバックに乾杯



受賞者が「泉州音頭」や「紙芝居」などを披露してくださいました



やります!



大賞チームリーダー山崎慶次さん。「第14回もリーダーやります」と、早くも宣言



会場は、南港にあるミズノ本社ビル31階(最上階)のパーティホール「スタディオン」。1階ホールには、スポーツ用品がミュージアム風に展示されています



受賞者、選考委員の先生をはじめとして115名が集いました

#### ご協賛企業(敬称略)

えび家/大阪王将  
音羽館/河内ワイン/岸本吉二商店/くくる/食道園/タン助梅田堂山店/千房/浪花正宗

### ／新／会／員／募／集／中／

なにわ名物開発研究会は、大阪で頑張るメーカー、流通、サービス、コンサルタント、クリエイターなどの業種・業態、ついには「業」さえも超えたヒト・モノ・コトのネットワーク組織です。毎月の例会を始めとする多彩な行事で、会員間の交流・関係諸団体との交流を図りながら、大阪の活性化を目指しています。現在、新会員を募集中。詳細は事務局までお問い合わせください。

【正会員】入会金10,000円・年会費36,000円  
【準会員】入会金 5,000円・年会費18,000円

電話 06-6947-5260  
mail info@naniwa-meibutsu.com  
URL http://naniwa-meibutsu.com/

なにわ名物

検索



ご希望の方に、当会のリーフレットを差し上げております。

# 毎月、バラエティに富んだ例会を開催!

当会では毎月、例会を行っています。講師を招いた講演・勉強会のあとは、プチ懇親会も実施。ほかにも大阪らしいレクリエーションが盛りだくさんです。今号では22年度前半の例会やイベントをご紹介します。

## 総会・記念講演 ネットワークパーティ

平成22年5月17日

平成22年度の総会・記念講演・ネットワークパーティを、本町のシティプラザ大阪1で開催。記念講演の講師は、肥田皓三氏2。大阪の生き字引といわれる肥田先生のプロフィール紹介を、当会会員の古川武志氏3が行いました。「ミナミのまちの徒然草」と題した講演内容は、ミナミの芸能・音楽から食・色までを深く濃く…。道頓堀五座(浪花座・中座・角座・朝日座・弁天座)とは別に松竹座ができた背景や、道頓堀は興行的にも「初物」が多い街であった話に参加者は聞き入っていました4。第三部にあたるネットワークパーティは、ホテルの料理を囲んで大いに盛り上がりました5。



## 真田幸村を楽しく学び、 商売に繋げよう!!

平成22年6月14日

平成22年度の商品開発部会のテーマは、なにわを代表する武将「真田幸村」です。その幸村をモチーフにした有形・無形の商品を開発するにあたり、6月の例会では真田幸村について知る機会を設けました。講師は、当会特別会員・講師の旭堂南陵師匠6。日本

各地で「講演 真田幸村」を公演されているとあって、楽しくわかりやすいお話でした。幸村は、大阪だけでなく長野県の上田市や和歌山県の九度山とも縁があり、商品開発の可能性が広がりました。



## 初心者のための 「能楽鑑賞」

平成22年4月16日

一度は観てみたいが敷居が高い、内容がわからず難しそう…。伝統芸能でありながら、なじみが薄い「能楽」の鑑賞会を行いました。場所は谷町四丁目にある山本能楽堂(国登録文化財)。建物内に屋根付きの舞台7があり、2階から観ることもできます8。開演前にはお抹茶のサービスもありました9。演目は、「小鍛冶(こがじ)」。同能



楽堂が主催する初心者向け企画として、公演前に演目の解説、公演後は質問コーナーもあります。さらに、観世流能楽師の山本章弘先生のご案内で、楽屋や舞台裏を見学させていただきました。能楽堂の楽屋には、太鼓の皮を乾かしてはりつめた音を出すための火鉢が必ずあるそうです12。最後は能楽堂内で懇親会11。先方の



ご配慮で当会会員・株式会社徳の仕出し弁当が用意されていました1011。能を観るのが初めての参加者も多く、大好評でした。

## 2010 サマーパーティ

平成22年8月28日

ニューオーサカホテル心斎橋のラウンジで開催。この日は代表幹事の岸本敏裕氏13もTシャツ姿で参

加。自社商品の紹介13や抽選会14もあり、アットホームな雰囲気を楽しみました。床に並んでいる段ボールは、すべて抽選会の賞品です。



## 「モンドセレクション」 世界が認める商品へ…

平成22年9月17日

一度は目にしたことがあるモンドセレクション…。9月の例会は、モンドセレクション本部の正式認可を受けている株式会社ライセンス・ジャパンの松井隆行

氏16に講師をお願いしました。詳細な資料17もあり、応募方法や費用、審査員・審査方法など、興味深い内容でした。



## 京セラドーム大阪 草野球



4月26日、「京セラドーム大阪」を借り切って、草野球を開催A。対戦相手は大阪の文具メーカー有志。大人も子供も一緒にプレーを楽しみました。野村会長は、見事な空振りを披露B。会員の水谷英一氏は、参加者へのお土産をたくさんご提供くださいました。

## 会員情報 当会の会員を順次ご紹介していくコーナーです。



### 自社開発商品「黒五佃煮」が大ヒット。

いわし、わかさぎ、あさり、しじみの佃煮が大ヒット。いずれも、黒ごま・黒米・黒豆・黒松の実・黒かりんの「黒五」をまぶした自社開発商品。「美味しい物だけしか扱いません!」と、素材重視の逸品を提供している。漬物、みそ、納豆、醤油など、日本古来の発酵食品も豊富に揃う。

■担当: 山川謙治 (大阪市福島区 / 06-6461-6668)

株式会社ヤマカワ <http://www.0141.co.jp/>



### ハイセンスなラッピング用品の代名詞!

包装紙・ポリバッグ・シール・リボンなどのハイセンスなラッピング用品から、カード・ポスターなどのSPツールまでをトータルに企画・制作。定番品のほか、ショップのイメージにあわせた別注品にも対応。「贈る」「包む」「持ち運ぶ」といったシーンに、感動と驚きを添える商品を創り出している。

■担当: 暮松邦一 (大阪市阿倍野区 / 06-6719-7311)

株式会社ヘッズ <http://www.heads-jp.com/>



### 「もつ鍋」をアテに飲んで平均予算2500円。

昭和レトロをテーマにした店内で、おいしい「もつ鍋」を900円(1人前)で味わえる。同一料金の「つくね鍋」「豚鍋」のほか、サイドメニューでは鹿児島から直送の「豚なん骨煮」「地鶏さしみ」が大人気。店舗は、福島、天満、野田、西九条、緑橋にあり、いずれも連日大盛況。

■担当: 福島敏明 (大阪市福島区 / 06-6455-3563)

福福福屋(ふくみや) <http://www.fukumi-ya.com/>



### 本物を超えた「食品サンプル」のメーカー。

ラーメン、ビール、寿司、デザート…。飲食店のショーケースに並ぶ、ほんものソックリの食品サンプル。その総合メーカーとしてバイオニア的な役割を担う業界最大手。本物以上に視覚的効果の高い食品サンプルや、立体的なディスプレイの提案を交えた「繁盛のお手伝い」に定評がある。

■担当: 岩崎雅明 (大阪市東住吉区 / 06-6714-2526)

株式会社いわさき <http://www.iwasaki-ts.co.jp/>